

就学前教育推進計画

1 園運営の充実

2 教育・保育の充実

はじまりは乳幼児期から
～生きる力の基礎を培う教育・保育～

3 子育て支援の充実

4 保育者研修の充実

I 推進施策

1 園運営の充実	(1) 園の特色を生かしたカリキュラム・マネジメントの推進	(2) 園運営の改善を図る学校（園）評価の推進
	<p>① 幼稚園教育要領、保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、園目標及び重点目標を実現するための全体的な計画や教育課程を作成し実施する。</p> <p>② 一人一人の子どもの発達や学びに必要な経験が得られるよう、ねらいと内容を明確にした指導計画を作成し、意図的・計画的な環境の構成と関わりの充実を図る。</p>	<p>① 学校（園）評価等を計画的に実施し、その情報を積極的に公表するとともに、家庭や地域社会との連携の下、園運営の改善・充実を図る。</p> <p>② PDCAサイクルを機能させた教育・保育の実現に向け、育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点に、具体的な子どもの姿を通して評価し、指導計画の見直し及び改善を図る。</p>
2 教育・保育の充実	(1) 自分の世界を広げ、自立できる子どもの育成	(2) 豊かな心と健やかな体の育成
	<p>① 養護の行き届いた環境の下、生活や遊びを通して育みたい資質・能力を一体的に育む。</p> <p>② 地域の自然や文化等、身近な環境と十分な関わりをもたせ、多様な感動体験を通してふるさとへの愛着心を育む。</p> <p>③ 乳児から始まるキャリア教育は日々の保育そのものであることを踏まえ、身近な人と関わる楽しさや、役に立ったり、認められたりする喜び等を通して、様々な活動に意欲と自信をもって自ら取り組む気持ちを育む教育・保育の充実を図る。</p> <p>④ 子どもが主体的に環境と関わり、興味・関心を抱いたことに存分に取り組む中で、試行錯誤したり考えたりしようとする姿を支える教育・保育を通して、“「問い」を発する子ども”の育成を図る。</p>	<p>① 5領域のバランスを考慮し、心身の調和がとれた発達を促す総合的な教育・保育を展開する。</p> <p>② 信頼関係に支えられた生活を基盤とした様々な人との関わりの中で、他者への信頼感と自己肯定感を育み、社会性や道徳性の醸成を図る。</p>
3 子育て支援の充実	(1) 保育者の専門性や、園の特性を生かした子育て支援	(2) 「遊びは学び」育ちをつなぐ教育・保育の充実
	<p>① 子どもの育ちについて保護者と相互理解を深め、保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じられるよう、保育者の専門性や園の特性を生かした支援に努める。</p> <p>② 家庭の実情に応じた支援を推進するために、関係機関との連携及び協働を図り、園全体の体制構築に努める。</p>	<p>① 互いに思いを伝え合い、生活や遊びを通して他者と関わって活動する楽しさを味わうなど、協同する経験の充実を図る。</p> <p>② 発達や学びの連続性を踏まえた教育・保育の充実により、就学前教育と小学校教育との円滑な接続を図る。</p>
4 保育者研修の充実	(1) 信頼され魅力ある園及び保育者を目指す研修	(2) 家庭や地域と共に子ども一人一人の育ちを支える子育て支援
	<p>① 園の課題を共通理解し、全職員の参画意識を高め、組織的・計画的・継続的な研修・研究の充実を努める。</p> <p>② 秋田県教職キャリア指標（保育者）を踏まえた体系的・計画的な研修を通して、保育者としての資質及び専門性の向上に努める。</p>	<p>① 子ども一人一人が心身ともに健康な生活を送ることができるよう、家庭や地域と共にその成長・発達を支える。</p> <p>② 特別支援教育コーディネーターを核とした園内支援体制を整え、個別の教育的ニーズを把握するとともに、家庭や関係機関と連携し、より適切な支援ができるように努める。</p>
	(1) 今日的な課題に対応するための研修	(2) 今日的な課題に対応するための研修
	<p>① 育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点とした教育・保育改善に関する組織的な研究を推進する。</p> <p>② インクルーシブ教育システムの理念の下、個別の教育的ニーズのある子どもの理解と合理的配慮を踏まえた教育・保育について、全職員の理解を図る研修を推進する。</p>	